



暑熱対策をしましょう

7月になり気温が上昇してきたため、家畜への適切な暑熱対策が必要です。家畜は行動が制約され、涼しい場所を選べません。暑さは家畜にとって大きなストレスとなり、採食量や乳量、増体量、受胎率、産卵率が低下し、家畜の生産性が著しく低下します。

また、暑熱のストレスは日射病や熱射病等の事故につながりますので、しっかりと対策をとりましょう。

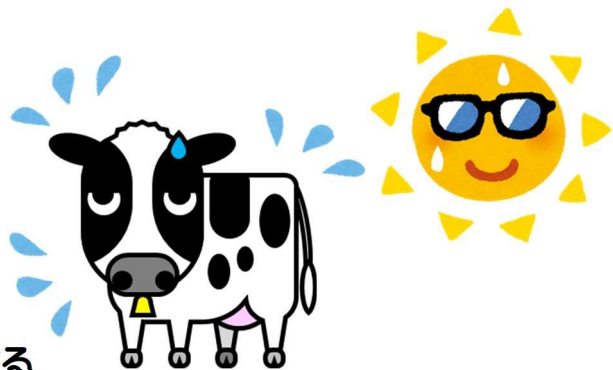
畜舎内での対策

- 換気・通気は、効率的な気流になっていることを確認する
- 換気扇・扇風機・ポリダクトなどを使い、細霧装置を併用する
- ネットやひさしで遮光する
- 畜舎内外(特に屋根)に散水・放水する
- 畜舎の屋根に石灰を塗布する



家畜への対策

- 密飼いしない
- 新鮮な水を常に十分飲めるようにする
- 飼料は朝夕の涼しい時間帯に与える
- ビタミン、鉱塩などのミネラルを補給する



日射病・熱射病の症状が見られたら

日射病、熱射病では食欲不振、体温上昇、呼吸促迫、開口呼吸、目や陰部等の粘膜の充血、脱水症状などが見られます。これらの症状が見られた場合、早めに獣医師による治療を受けましょう。

家畜伝染病を疑う異状が見られたら、直ちに

青森家畜保健衛生所 にご連絡ください

電話:017-764-1744

夜間・休日:090-2274-0474